

⑫ 細胞集塊辺縁の扁平化

・細胞学的定義

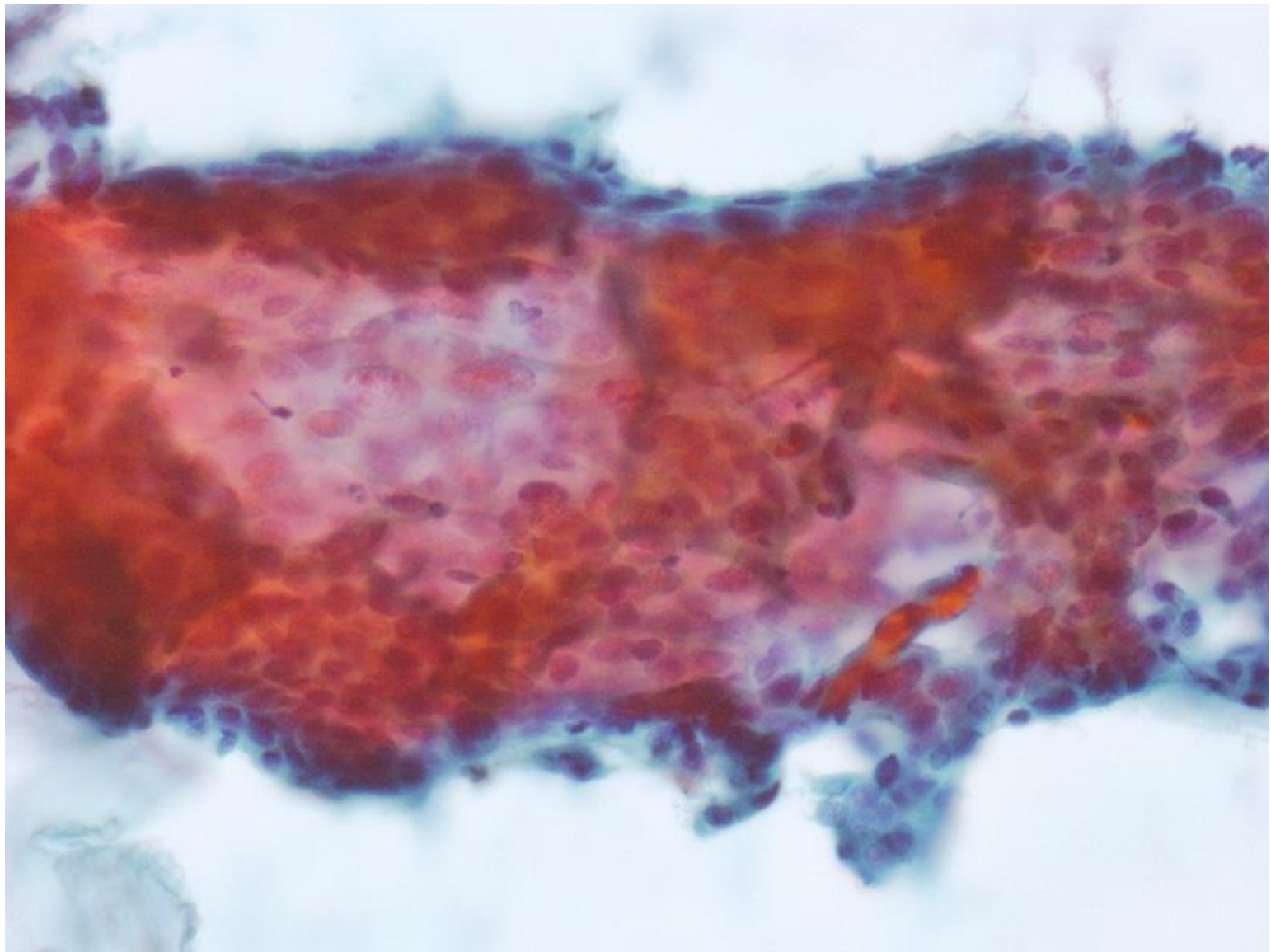
細胞集塊辺縁の核が細長く、紡錘形様に扁平な形を認める。

・組織型の推定と補足

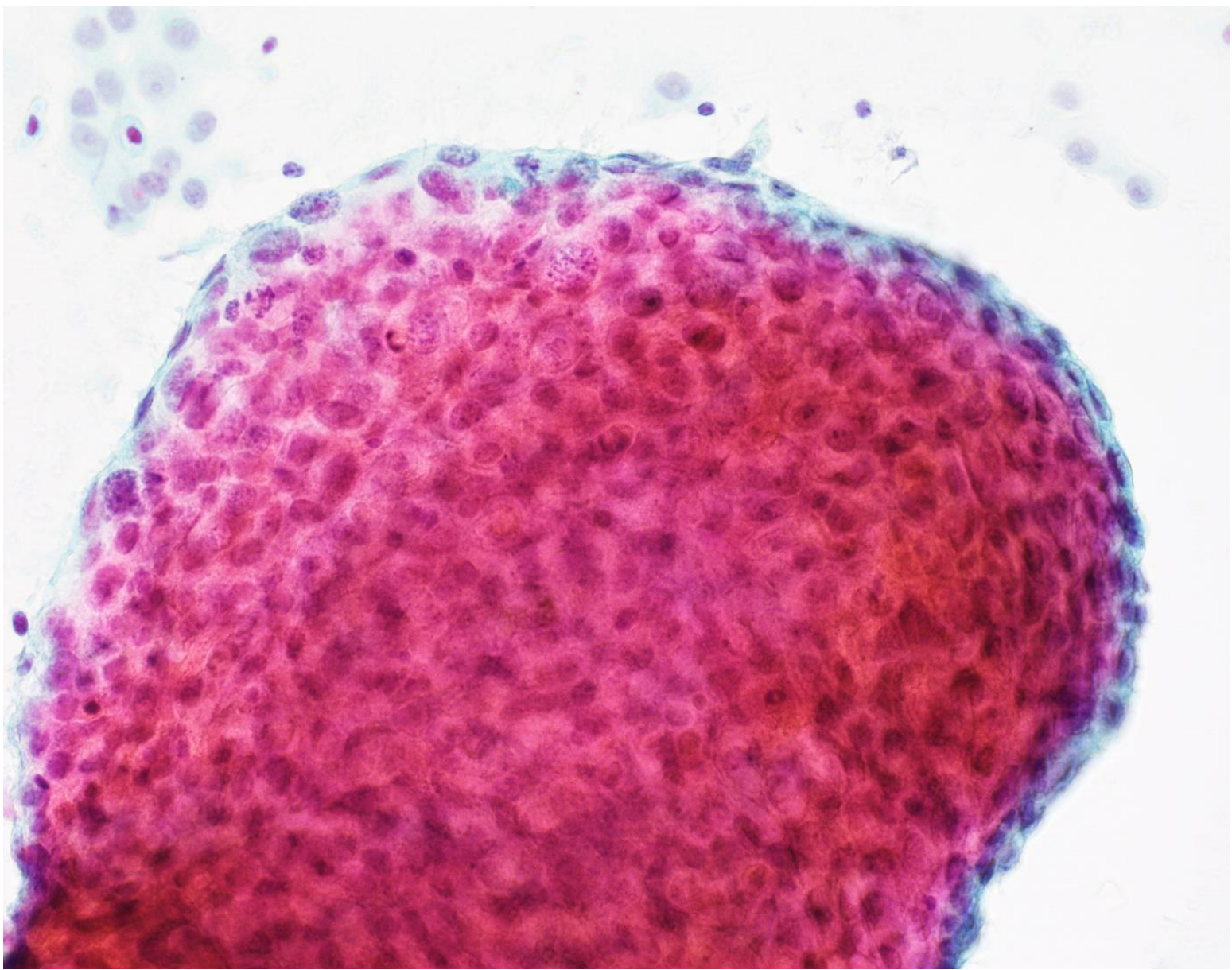
組織学的に扁平上皮癌(非角化型や類基底細胞型)の中で角化方向へあまり分化していない癌細胞の集塊で見られることがある。

細胞学的には扁平上皮癌の大型あるいは中型細胞集塊辺縁で見られることがあるため、扁平化した細胞がないか検討する必要がある。この扁平化した細胞が単個で見られる場合もあるが、数個の扁平化した細胞が重なって見られる時に「細胞集塊辺縁の扁平化あり」と判定する。

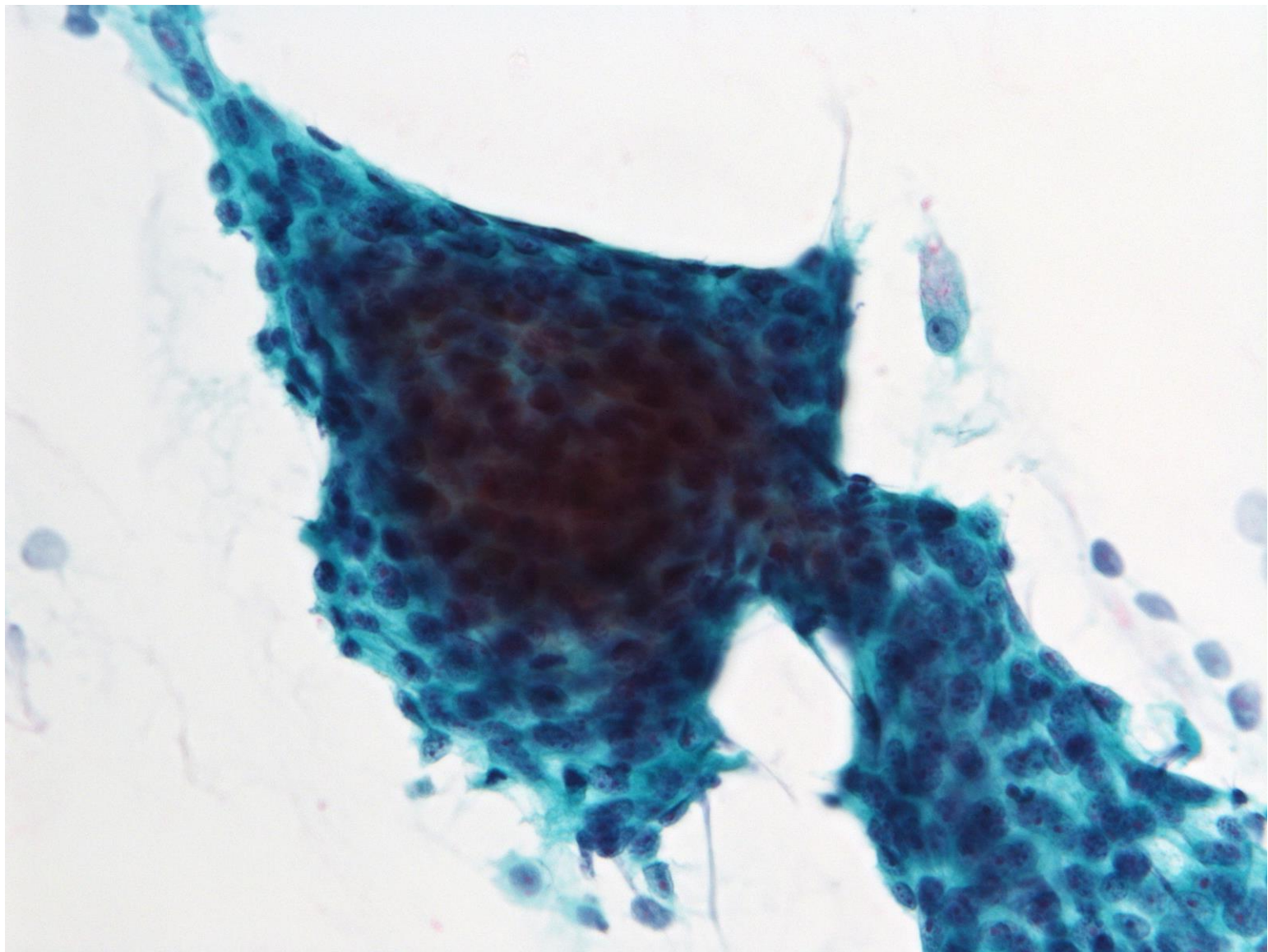
尚、腺癌でも同様の所見をみることがあるため、腺癌と扁平上皮癌の鑑別時には、複数の所見を参考にする必要がある。



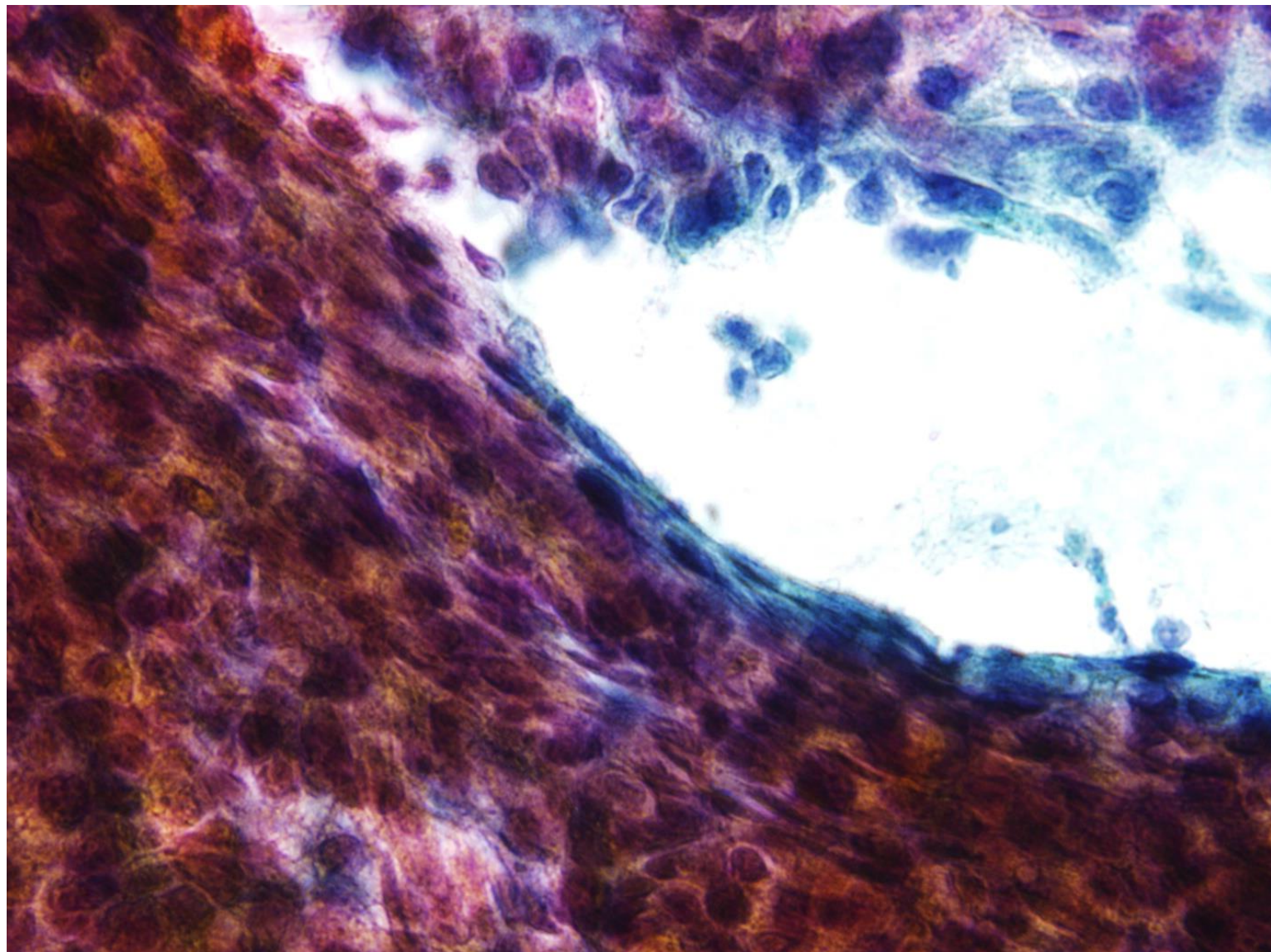
定型例 ⑫-1 (擦過、扁平上皮癌、用語の一致率90%) : 大型細胞集塊の上側の辺縁部では、扁平化した細胞が約10個程度、つらなって並んで配列している。「細胞集塊辺縁の扁平化あり」と判定する。



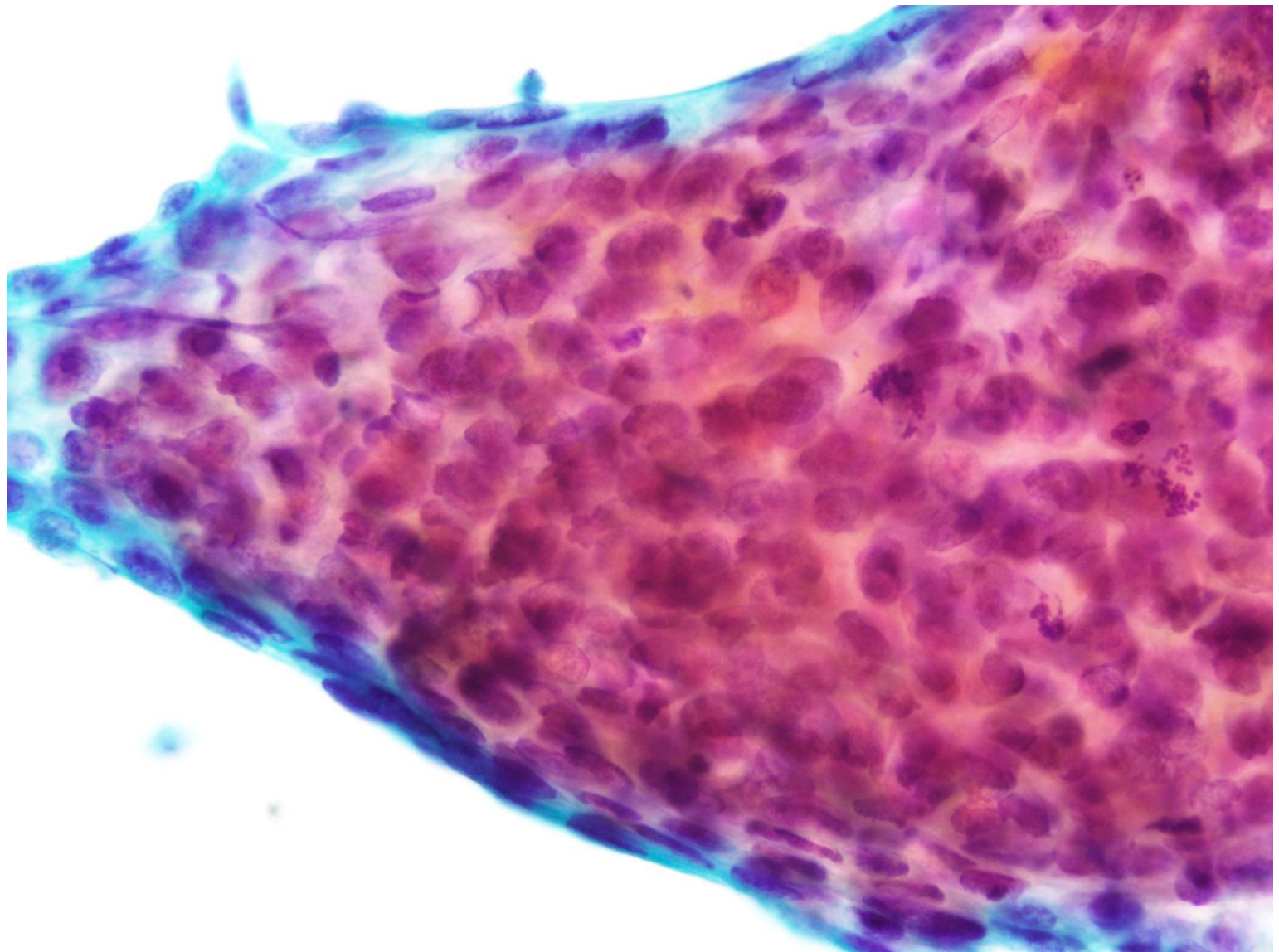
定型例 ⑫-2(擦過、扁平上皮癌、用語の一致率90%): 大型細胞集塊の上部辺縁部では、扁平化した細胞が約20個程度、つらなって配列している。「細胞集塊辺縁の扁平化あり」と判定する。



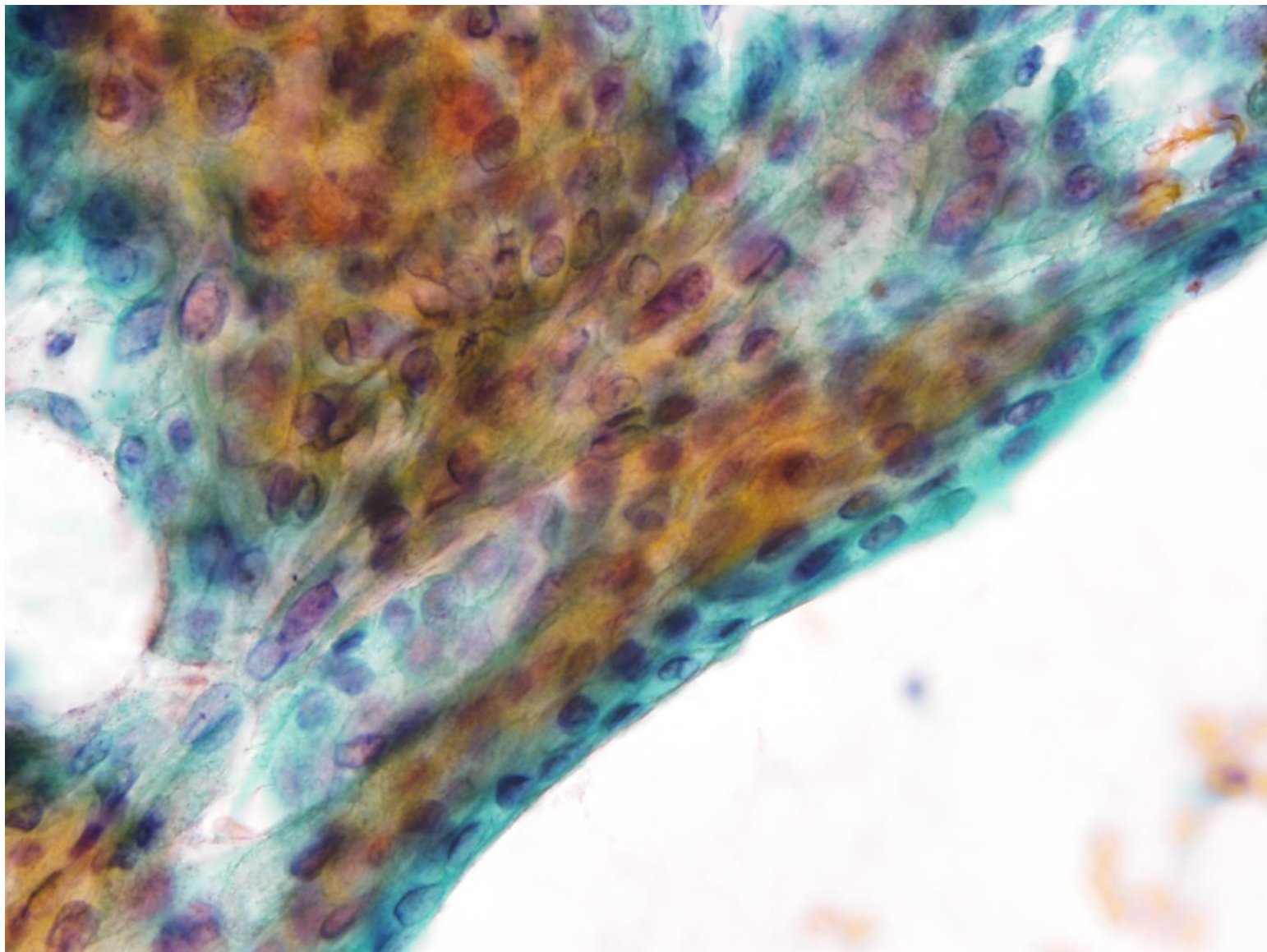
定型例 ⑫-3(擦過、扁平上皮癌、用語の一致率90%): 大型細胞集塊の辺縁部の上部付近では、扁平化した細胞が5個程度、つらなって認められる。「細胞集塊辺縁の扁平化あり」と判定する。



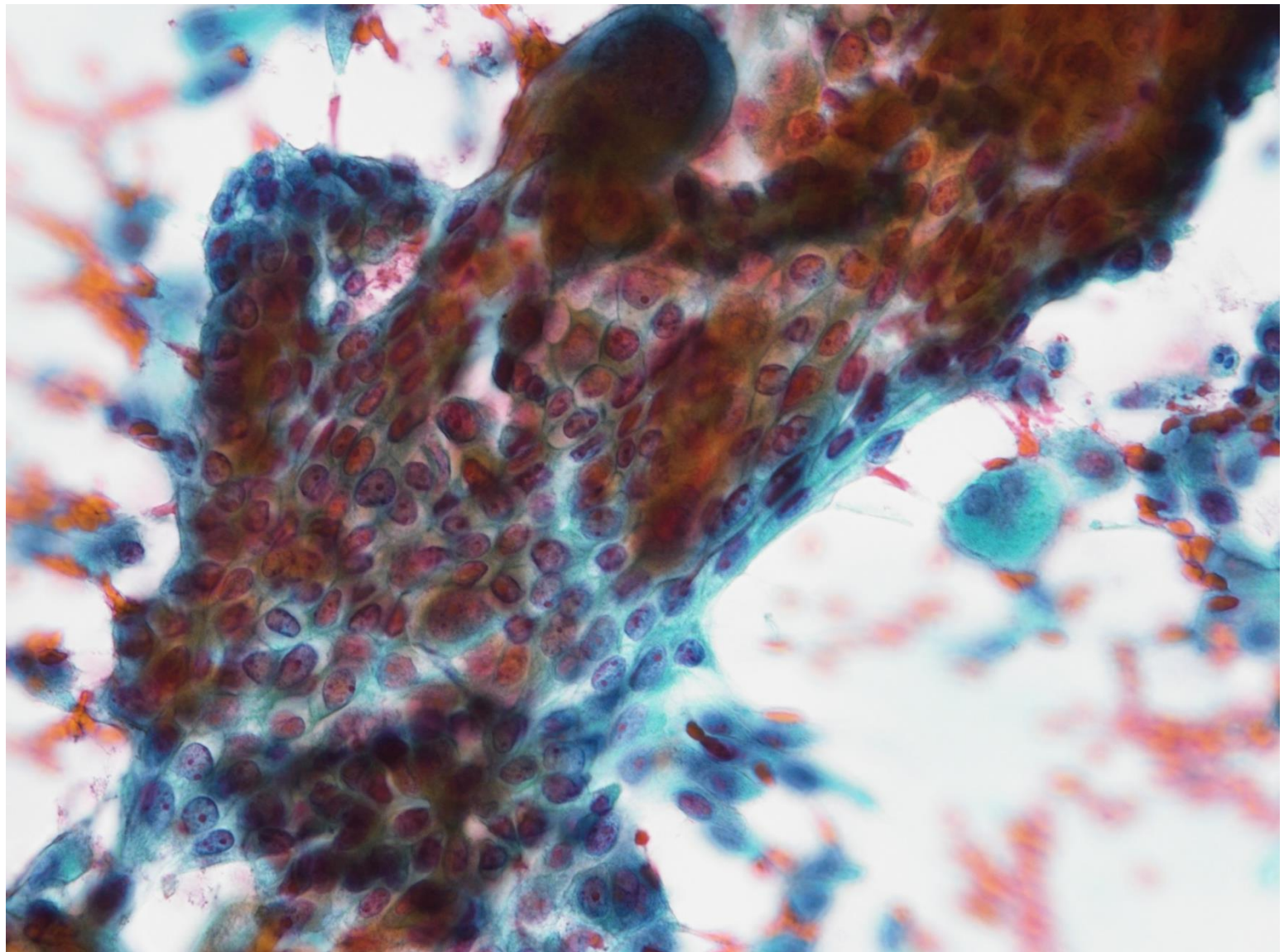
定型例 ⑫-4 (擦過、扁平上皮癌、用語の一致率100%) : 大型細胞集塊の辺縁部の上部付近では、扁平化した細胞が5個程度、つらなって認められる。「細胞集塊辺縁の扁平化あり」と判定する。



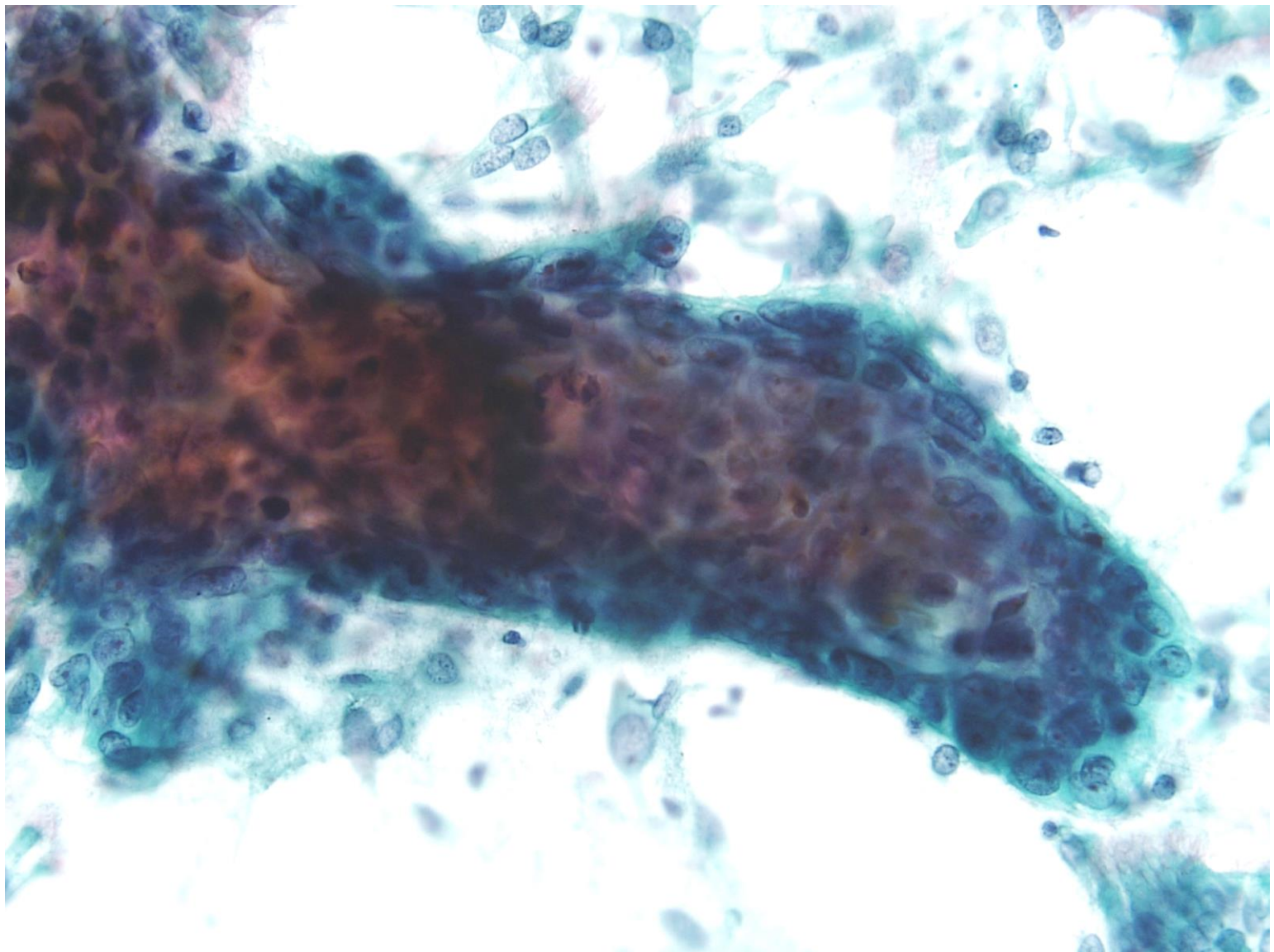
定型例 ⑫-5 (EBUS-TBNA、扁平上皮癌、用語の一致率100%) : 大型細胞集塊の辺縁部の上部や下部付近にかけて、扁平化した細胞が約10個程度、つらなって認められる。「細胞集塊辺縁の扁平化あり」と判定する。



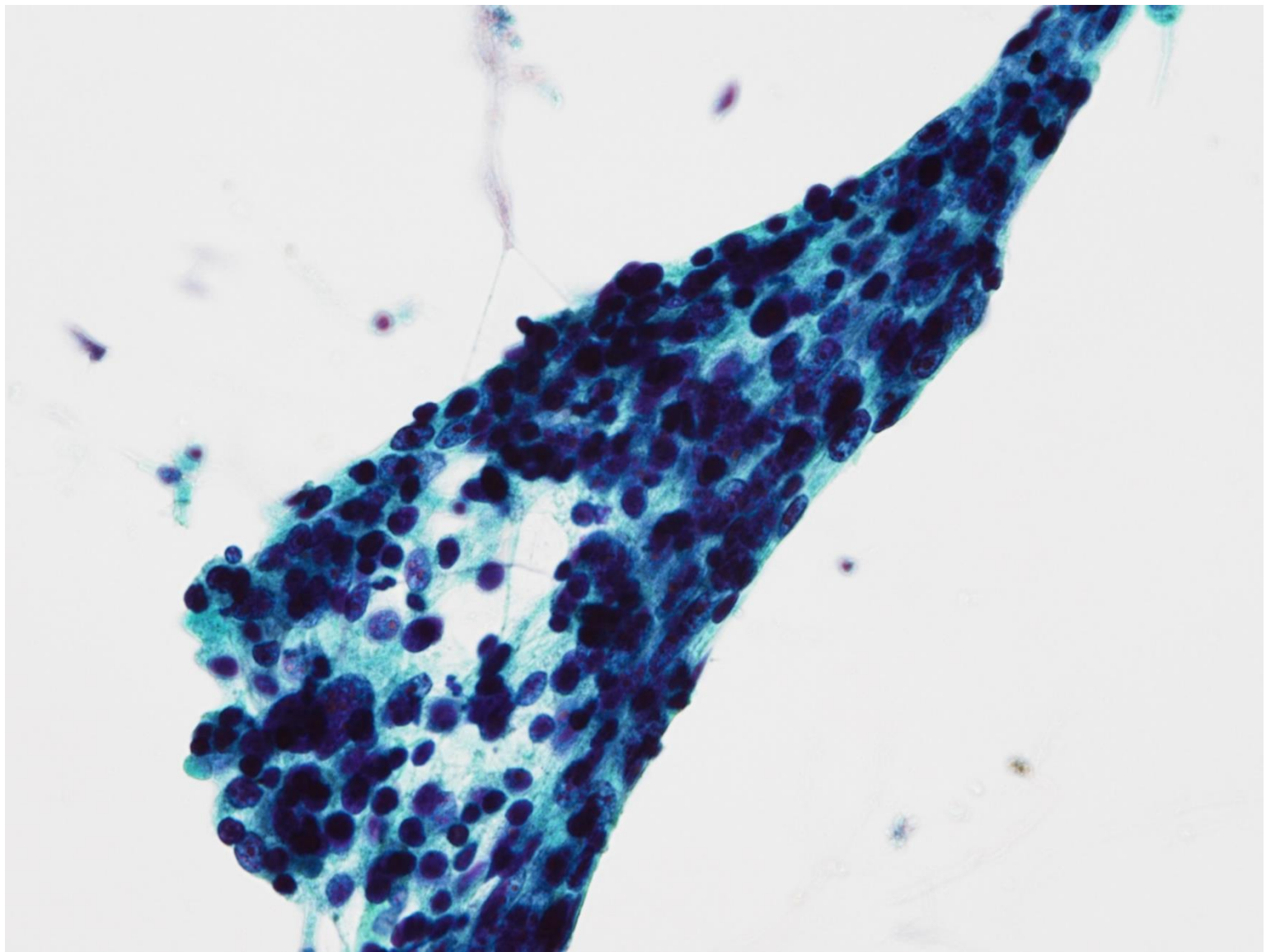
定型例 ⑫-6 (擦過、扁平上皮癌、用語の一致率80%) : 大型細胞集塊の辺縁部の下部付近では、扁平化した細胞が5個以上、つらなって認められる。「細胞集塊辺縁の扁平化あり」と判定する。



⑫-7(捺印、腺癌、用語の一致率60%):大型細胞集塊の辺縁部の右端付近では、楕円形の核が数個認められる。しかし、扁平化したつらなった細胞はみられない。「細胞集塊辺縁の扁平化あり」とは判定しない。



⑫-8(擦過、扁平上皮癌、用語の一致率30%):大型細胞集塊の辺縁部の上部付近では、扁平化した細胞が数個認められる。しかし、扁平化した細胞はつらなって認められていない。「細胞集塊辺縁の扁平化あり」とは判定しない。



⑫-9(擦過、扁平上皮癌、用語の一致率50%): 大型細胞集塊の辺縁部の右端付近では、楕円形核が数個認められる。しかし、扁平化した細胞がつかなくて認められているわけではない。「細胞集塊辺縁の扁平化あり」とは判定しない。